

レースレポート

■開催概要

- 大会名称 : 2026 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Round 2
- 主催 : 関西スポーツカークラブ (KSCC)、名古屋レーシングクラブ (NRC)、鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)
- 協力 : AASC、ARC、ARCN、KRHC、OCCK、チーム淀
- 後援 : 鈴鹿市/一般社団法人鈴鹿市観光協会 (FEクラス)
- 競技 : JAF公認 準国内競技
- 会場 : 鈴鹿サーキットレーシングコース フルコース (5.807km)
- 開催クラス : 総参加台数/189台
 - FIT 1.5 Challenge Cup 18台
 - フォーミュラEnjoy 18台
 - v.Granz 27台
 - VITA 37台
 - FJ1500 3台
 - スーパーFJ 16台
 - ロードスター・パーティレースⅢ 40台
 - マツダファン・サーキットトライアル 17台
- 併催 : Historic Formula Register 13台
- 開催日 : 2026年6月13日(土)・14日(日)
- 天候・路面 : 6月13日(土) / 晴れ・ドライ 14日(日) / 曇り・ドライ



<https://www.suzukacircuit.jp/scr/>

SUZUKA CHAMPION CUP RACEの詳細情報・公式リザルト・ポイントランキング等は、鈴鹿サーキット公式webサイト専用ページにてご覧いただけます。

■次回レース開催概要

- シリーズ名称 : 2026 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Round3
- 開催日 : 2026年7月11日(土)・12日(日)
- 会場 : 鈴鹿サーキットレーシングコース フルコース (5.807km)
- 開催クラス : FJ1500/S-FJ、FIT 1.5 Challenge Cup、MEC120 (VITA、v.Granz)、フォーミュラEnjoy N-ONE OWNER'S CUP



VITAクラスには37台がエントリー! グリッド上をカラフルなレーシングマシンが埋め尽くす様子は壮観だった

土曜日はマツダファン向けのレースやタイトラも開催! 2日間にわたり、最後まで予測不能な高速バトルが繰り広げられた

開幕戦から約3カ月。待ちに待った「SUZUKA CHAMPION CUP RACE」の第2戦が、6月13日(土)、14日(日)の両日、開催された。

土曜日に各クラスの公式予選が行われる中、一際目を引いたのが夕方開催された「参加して楽しむ」をコンセプトとした2つの競技。その一つが「ロードスター・パーティレースⅢ」。2002年に始まり、日本各地のサーキットを転戦するマツダロードスターを使うワンメイクレース。ロードスターを愛するドライバーが集い、40台ものエントリーを集め、盛況のうちに開催。もう一つがマツダ車のみで行われるタイムトライアル「マツダファン・サーキット・トライアル」。2025年、鈴鹿で開催して好評だったことを受けての連続開催となった。

そして、日曜日は「VITA」、「フォーミュラEnjoy」、「v.Granz」など、鈴鹿チャンピオンカップレースとして、おなじみの各クラスが予定通り、決勝レースを消化。VITAクラスでは西尾光芳が開幕戦からの連勝を決めた一方で、v.Granzでは、開幕戦を制したドライバーに競り勝った兒島弘訓が優勝を果たすといったドラマも見られた。

日曜日の鈴鹿上空は終始雲に覆われたものの、路面は最後までドライをキープ。天候や大きなアクシデントに悩まされることなく、多くのドライバーがサーキット走行という貴重な時間を最後まで楽しんでた。



併催イベントとして行われたヒストリックフォーミュラレジスター。往年の名車がジェントルドライバーの手により鈴鹿を駆け抜けた

レースレポート

■FIT 1.5 Challenge Cup

ポールポジションの清水悠祐がスタートに失敗すると、2番グリッドの大東寛和がトップへ。大東を追う瀬戸貴巨は、最終コーナーで大東をパスしてオープニングラップをトップで終える。瀬戸、大東、開勇紀がトップ3を形成。順位を落とした清水、そして岩瀬亮平が猛チャージでトップ3を窺う。清水は着実に順位を回復し2番手となり、トップの瀬戸に迫る。

レースは瀬戸をトップに清水、開が三つ巴でファイナルラップへ。そして最終コーナー、アウトから抜きにかかる清水だったが、瀬戸が抑えてトップチェッカーを受けた。



FIT 1.5 Challenge Cup 決勝レースライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



優勝は瀬戸貴巨。2位は猛チャージを披露した清水悠祐、3位は開勇紀となった

Round 2

レースレポート

■FIT 1.5 Challenge Cup 決勝正式結果表

FIT 1.5 Challenge Cup 決勝

2026 / 6 / 14 11:00



正式結果表

Weather : Cloudy

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Track : Dry

Pos	No	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	77	瀬戸 貴巨	テカニカ★OKC★制動屋★セナルFIT	GK5	DL	8	20'37.942		2'34.090
2	15	清水 悠祐	アライメント浜松 森下工業 Hash9 アーjent FRC FIT	GK5	DL	8	20'38.740	0.798	2'33.878
3	88	開 勇紀	STEPUP★総合建設★ゼロファイター	GK5	DL	8	20'39.415	1.473	2'34.274
4	22	杉原 悠太	PLUCK★制動屋★セナル★フィット	GK5	DL/BS	8	20'42.016	4.074	2'34.240
*1	5	大東 寛和	SAMURAI Performance NUTEC	GK5	DL	8	20'47.163	9.221	2'34.214
6	55	林 陽介	ゼロファイター★零式戦闘★制動屋★FIT	GK5	DL	8	20'54.188	16.246	2'35.120
7	37	坂田 生弥	Winmax・SPM 大川エンジニアリング	GK5	DL	8	20'54.709	16.767	2'34.540
8	99	貴島 康博	デーライズ TBO インパクト TA ドリフト8	GK5	DL	8	20'58.944	21.002	2'35.974
*2	9	小畑 晋治	SPM 大川 ENG オージック WM FIT	GK5	DL	8	20'59.688	21.746	2'34.945
10	47	森岡 友和	SPEEDMASTER☆WM☆大川ENG	GK5	DL	8	21'02.432	24.490	2'36.753
11	58	副島 健二	ゼロファイター★アンダーレ★副島空調	GK5	DL	8	21'05.112	27.170	2'36.464
12	38	山本 泰成	KYトラック★ゼロファイター★制動屋	GK5	DL	8	21'10.160	32.218	2'37.465
*3	13	藤田 修三	URG☆FRC☆FIT	GK5	DL/BS	8	21'25.548	47.606	2'34.549
*4	14	大谷 浩	ビッグハリー☆セナル☆FK-TEC	GK5	DL/BS	8	21'40.901	1'02.959	2'34.625
15	63	岩瀬 亮平	六ッ美瀬戸自動車WinmaxハトロスFIT	GK5	DL	7	18'17.355	1Lap	2'33.964
16	33	住 直哉	OGU×HAP@TEMPLE×ASLAN 制動屋	GK5	DL	5	13'01.619	3Laps	2'34.795
***** 以上完走 (規定周回数 5Laps) *****									
86		峯原 智之	Winmax.Spm.大川Eng.小堀電工	GK5	DL	3	7'55.494	5Laps	2'36.461
53		林 大輔	ゼロファイター★零式戦闘★制動屋★D-Making	GK5	DL	1	3'06.131	7Laps	2Laps

Fastest Lap

2'33.878 (5 / 8) 135.856 km/h 15 清水 悠祐 / アライメント浜松 森下工業 Hash9 アーjent FRC FIT

Start Time :8:49'36 Finish Time :9:10'13

Entry :18 Start :18 Finish :16

- *1 No.18は、競技結果に対して5秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第60条1)ⓐ (危険なドライブ行為))
- *2 No.52は、タイムペナルティ5秒 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第55条8) (反則スタート))
- *3 No.36は、タイムペナルティ5秒 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第55条 (スタート手順))
No.36は、競技結果に対して30秒加算 (国際モータースポーツ競技規則 付則H項 2.5.5 b) (黄旗中の追越し))
- *4 No.39は、競技結果に対して5秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第60条1)ⓐ (危険なドライブ行為))
No.39は、競技結果に対して40秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第60条1)ⓐ (危険なドライブ行為))



<https://www.suzukacircuit.jp/scr/>

SUZUKA CHAMPION CUP RACEの詳細情報・公式リザルト・ポイントランキング等は、鈴鹿サーキット公式webサイト専用ページにてご覧いただけます。

レースレポート

■フォーミュラEnjoy

KENJI MURASEがポールポジションからスタート。2番グリッドはマイスターズ・カップの市岡洋一郎、中島一郎が上位グリッドを形成。KENJI MURASEがホールショットを奪うが、2コーナーで市岡を含む2台が接触し、セーフティカーランとなる。トップにKENJI MURASE、中島、山重、ジョニー小倉、Bagnall Alexanderのオーダーでレースは再開。KENJI MURASEと中島のトップ争いが激化する一方、山重とジョニー小倉による3番手争いも繰り広げられた。中盤に差し掛かる頃、中島はKENJI MURASEをオーバーテイクしてトップへ。

KENJI MURASEは5番手あたりまで順位を落とすが、その後、猛チャージを見せて2番手でファイナルラップを迎える。しかし、トップの中島とは大きな差があり、中島はアドバンテージを生かし、トップでチェッカーを受けた。



フォーミュラEnjoy 決勝レースライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



3番グリッドスタートだった中島一郎は、終盤でトップに立つと逃げ切った

Round 2

レースレポート

■フォーミュラEnjoy マイスターズ・カップ



マイスターズ・カップの優勝はジョニー小倉、2位は大内田実、3位は市岡洋一郎。大内田は鈴鹿8耐ライダーとして知られる存在で今回がFE参戦2戦目

■フォーミュラEnjoy 決勝正式結果表

フォーミュラ Enjoy 決勝

2026 / 6 / 14 11:20

 SUZUKA CIRCUIT
Full Course 4-Wheels(5,807m)

正式結果表

Weather :Cloudy
Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	16			中島 一郎	barbershop丈二 FE- IIレブリ	FE2	DL	8	22'02.389		2'28.301
2	35			KENJI MURASE	HFRPMakeItYourRaceFE	FE2	DL	8	22'04.775	2.386	2'27.311
3	99			山重 裕太	山ちゃん with クレヤマシゲ EAGLE	FE2	DL	8	22'10.206	7.817	2'29.156
4	41	M	1	ジョニー小倉	HFRP パワーミナル EVO	FE2	DL	8	22'11.176	8.787	2'29.269
5	66	M	2	大内田 実	DOGFISH RT FE2 K&G	FE2	DL	8	22'11.614	9.225	2'29.482
6	32			松平 如水	GRID FE2 32号車	FE2	DL	8	22'11.945	9.556	2'29.601
7	79			Bagnall Alexander	K&G Racing FE2	FE2	DL	8	22'17.925	15.536	2'29.286
8	27			末廣 慶一	K&G RACING C72 FE2	FE2	DL	8	22'21.795	19.406	2'30.764
*1	9	M	3	市岡 洋一郎	HFRPMakeItYourRaceFE	FE2	DL	8	22'26.382	23.993	2'28.345
10	5	M	4	長谷川 英裕	HFRPMakeItYourRaceFE	FE2	DL	8	22'29.696	27.307	2'31.562
11	17	M	5	竹中 研一	ホールドハンス タナカ自動車☆K&G	FE2	DL	8	22'32.358	29.969	2'29.334
12	56	M	6	森下 吾郎	トヨタワークス エーワン FE	FE2	DL	8	22'34.423	32.034	2'31.170
13	78			安江 達也	ESDC KandGRACING FE2	FE2	DL	8	22'42.498	40.109	2'33.209
14	74	M	7	柳澤 幸宏	K&G RACING C72 FE2	FE2	DL	8	22'44.100	41.711	2'33.395
15	76	M	8	栢森 雅勝	K&G RACING C72 FE2	FE2	DL	8	22'44.971	42.582	2'32.666
*2	16	M	9	二井 靖之	ケルカッツサント 21-REV	FE2	DL	8	22'50.443	48.054	2'33.237
17	72	M	10	多屋 貞一	クマ工房 萬願亭 伸生 S 青海豚 R K&G	FE2	DL	8	23'02.048	59.659	2'35.176
					***** 以上完走 (規定周回数 5Laps) *****						
	57			松崎 良治	ゴーナ 中部マキング レヴレーシング	FE2	DL	0			



<https://www.suzukacircuit.jp/scr/>

SUZUKA CHAMPION CUP RACEの詳細情報・公式リザルト・ポイントランキング等は、鈴鹿サーキット公式webサイト専用ページにてご覧いただけます。

レースレポート

■VITA

中島僚斗がポールポジションからホールショットを奪う。西尾光芳、ジェントルマンクラスの三浦康司、神晴也、武地孝幸、Hana Burtonがトップ集団を形成した。しかし、プレッシャーからかトップの中島がオープニングラップでスピン。これにより西尾光芳はトップ浮上。一方、神もマシントラブルのためか順位を落とす。

この展開で楽になった西尾光芳はトップを快走、三浦、武地、三宅永泰、西尾和早、坂野貴毅らが追う。三浦がコースオフを喫するなど、数カ所でマシンが止まり残り2周でセーフティカーが導入される。レースはセーフティカーランフィニッシュになり、西尾光芳が前回の初優勝に続き連勝を飾った。



VITA 決勝レースライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



優勝した西尾光芳は開幕から2連勝。この日も終始、主導権を譲らなかった

■VITA ジェントルマンクラス



ジェントルマンクラスの優勝は三浦康司。2位にイシカワヨシオ、3位は松尾和哉

Round 2

レースレポート

■VITA 決勝正式結果表

VITA 決勝

2026 / 6 / 14 12:30

 SUZUKA CIRCUIT
Full Course 4-Wheels(5,807m)

正式結果表

Weather : Cloudy

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	320			西尾 光芳	エス★コンプリート 320 VITA	VITA-01	DL	8	23'39.862		2'24.856
2	13			武地 孝幸	odula TONE MOTUL TMR VITA	VITA-01	DL	8	23'40.497	0.635	2'25.238
3	10			三宅 永泰	TOY'S MS 制動屋 VITA	VITA-01	DL	8	23'40.903	1.041	2'25.136
4	85			西尾 和早	クロスアップ 制動屋 VITA	VITA-01	DL	8	23'41.682	1.820	2'25.140
5	24			坂野 貴毅	THE BRIDE VITA	VITA-01	DL	8	23'43.856	3.994	2'25.411
6	79			米田 弘幸	ABBEY RACING	VITA-01	DL	8	23'44.287	4.425	2'25.288
7	214			Hana Burton	Circuit Orange Racing	VITA-01	DL	8	23'45.452	5.590	2'25.540
8	65			Russel Reyes	Satori Coin VIRTUAL CUP VITA-01	VITA-01	DL	8	23'46.074	6.212	2'26.203
9	213			Kyle Wynne	Circuit Orange Racing	VITA-01	DL	8	23'46.726	6.864	2'25.848
10	17			櫻井 貴広	前田自動車販売 VITA-01	VITA-01	DL	8	23'48.515	8.653	2'25.983
11	47			高橋 幸宏	高橋モータース VITA☆F☆NUTEC	VITA-01	DL	8	23'49.751	9.889	2'26.684
12	50	G	1	三浦 康司	おうちの買い方 TMR 制動屋 NUTECVITA	VITA-01	DL	8	23'51.720	11.858	2'25.328
13	75			Streeter Jesse	ストリーター株式会社 エス★コン VITA	VITA-01	DL	8	23'53.536	13.674	2'26.951
14	44			中西 茂希	株式会社 駒田自工・CR Racing・セラルト VITA	VITA-01	DL	8	23'54.605	14.743	2'27.396
15	88			森本 万有芳	Luft Sports with ABBEY VITA	VITA-01	DL	8	23'54.749	14.887	2'27.647
16	7			中島 僚斗	TMR×萬雲塾 たつぱんレッカー VITA	VITA-01	DL	8	23'55.747	15.885	2'25.830
17	31	G	2	イノワヨシオ	A-PEX☆VITA	VITA-01	DL	8	23'57.089	17.227	2'28.881
18	37			山田 翔	Racing F VITA	VITA-01	DL	8	23'58.019	18.157	2'28.578
19	279	G	3	松尾 和哉	FOGA MISAWATIRE FS-VITA	VITA-01	DL	8	23'58.889	19.027	2'28.862
*1	20	G	4	中西 央	SHIELD Moty's 制動屋 FS VITA	VITA-01	DL	8	23'59.054	19.192	2'27.276
21	888			長岡 楓己	ABBEY RACING 888	VITA-01	DL	8	23'59.799	19.937	2'28.816
22	525	G	5	CHAY	グラク&CHAY	VITA-01	DL	8	24'00.236	20.374	2'28.794
23	46			藤川 健司	イーエム精工自動車部 & ナウエスト vita01	VITA-01	DL	8	24'01.042	21.180	2'30.162
24	58	G	6	綾 真則	BIOAGEN・Shell・COB・MARS01	VITA-01	DL	8	24'03.690	23.828	2'30.895
25	293			CHAO Wai Yew Vinc	KSM Motorsport	VITA-01	DL	8	24'04.972	25.110	2'30.878
26	33	G	7	HIRO KAWAKAMI	SHOWA with ABBEY	VITA-01	DL	8	24'06.452	26.590	2'32.036
27	25	G	8	藤永 雅彦	Chelsea RS VITA	VITA-01	DL	8	24'10.090	30.228	2'29.770
28	83			ライ マーヒン	Circuit Orange Racing	VITA-01	DL	8	24'10.488	30.626	2'30.286
*2	29	538		小嶋 淳平	JayK Sports	VITA-01	DL	8	24'13.426	33.564	2'31.623
*3	30	G	9	新垣 拓也	ASLN(株) 久遠 GETWILD 緑のためき	VITA-01	DL	8	24'34.426	54.564	2'30.940
					***** 以上完走 (規定周回数 5Laps) *****						
	93	G		田幸 和純	TMR×萬雲塾 VITA	VITA-01	DL	4	9'55.661	4Laps	4Laps 2'27.025
	22	G		片山 剛	SHINSEI K テック VITA	VITA-01	DL	4	9'57.147	4Laps	1.486 2'26.674
	63			神 晴也	SHINSEI VITA	VITA-01	DL	4	10'11.460	4Laps	14.313 2'24.971
	61			YASU	なかつつ×金星工業VITA	VITA-01	DL	4	10'15.028	4Laps	3.568 2'30.706
*3	21			ARTHUR TUASON	FormulaV1	VITA-01	DL	4	10'26.589	4Laps	11.561 2'27.152

Fastest Lap

	2'24.856 (2 / 8)	144.317 km/h	320	西尾 光芳 / エス★コンプリート 320 VITA
G	2'25.328 (2 / 8)	143.848 km/h	50	三浦 康司 / おうちの買い方 TMR 制動屋 NUTECVITA

Start Time :10:50'09 Finish Time :11:13'48

Entry :35 Start :35 Finish :30

SC導入時刻 :11:03'16(5Laps)~SC先導によりチェッカー

G...ジェントルマンクラス

*1 No.53は、タイムペナルティ5秒 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第55条 (スタート手順))

*2 No.538は、タイムペナルティ5秒 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第55条8) (反則スタート))

*3 No.3, 21は、競技結果に対して30秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第60条1)① (危険なドライブ行為))



<https://www.suzukacircuit.jp/scr/>

SUZUKA CHAMPION CUP RACEの詳細情報・公式リザルト・ポイントランキング等は、鈴鹿サーキット公式webサイト専用ページにてご覧いただけます。

レースレポート

■v.Granz

ポールポジションから好スタートを決めたのは開幕戦ウィナーの金澤力也だ。金澤を兒島弘訓、山下亮生、関正俊、畑享志の順で追う展開となる。すると、畑がコースアウトを喫してしまい、3周目からセーフティカーランになる。

金澤、兒島、山下、関、佐々木光、入谷敦司の順で周回を重ねる。セーフティカー解除後のリスタートも見事に決めて金澤はトップをキープするが、2番手の兒島も金澤との差を広げさせない。終盤にかけてトップ2はテールtoノーズの膠着状態のまま、いよいよファイナルラップへ。勝負に出た兒島は、金澤をオーバーテイクして逆転。そのまま金澤を振り切ると、トップでチェッカーを受けた。2位は金澤、3位は山下となった。



v.Granz 決勝レースライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



優勝した兒島弘訓は、開幕戦ウィナーの金澤力也を最終ラップで逆転

Round 2

レースレポート

■v.Granz 決勝正式結果表

v.Granz 決勝

2026 / 6 / 14 14:45

 **SUZUKA CIRCUIT**
Full Course 4-Wheels(5,807m)

正式結果表

Weather :Cloudy
Track :Dry

Pos	No	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	11	児島 弘訓	NILZZ Racing	v.Granz	MI	8	22'00.924		2'13.481
2	75	金澤 力也	ファイブコアジャパン v.granz	v.Granz	MI	8	22'01.460	0.536	2'13.386
3	10	山下 亮生	ルーニーアキラント v.Granz ルーニ	v.Granz	MI	8	22'03.831	2.907	2'14.016
4	58	入谷 敦司	カブカ v.Glanz	v.Granz	MI	8	22'07.509	6.585	2'14.934
5	293	佐々木 光	KSM Motorsport	v.Granz	MI	8	22'07.937	7.013	2'15.072
6	31	OOKA	G-TECH	v.Granz	MI	8	22'09.616	8.692	2'14.651
7	38	飯田 敏雄	花仙 ACM v.Granz	v.Granz	MI	8	22'11.933	11.009	2'14.855
8	82	竹本 優月輝	群馬トヨペット Team RiNOA	v.Granz	MI	8	22'14.277	13.353	2'16.036
9	81	長谷川 睦	CLEANLIFE ITAL ABBEY	v.Granz	MI	8	22'15.042	14.118	2'15.568
10	18	大橋 孝行	オオハシ @ASLAN V.Granz	v.Granz	MI	8	22'16.625	15.701	2'16.014
11	133	TOMISAN	AKIRAND VGRANZ	v.Granz	MI	8	22'19.578	18.654	2'15.604
12	15	吉村 一悟	NEXSEED v.Granz	v.Granz	MI	8	22'20.154	19.230	2'16.475
13	777	元山 泰成	ありがとう ☆OYAJI☆ AMORE with F	v.Granz	MI	8	22'23.395	22.471	2'14.933
14	12	金久 憲司	ONELAPCOAT アシスト青春親父	v.Granz	MI	8	22'28.968	28.044	2'16.455
15	9	関 正俊	グラク &KTS	v.Granz	MI	8	22'30.609	29.685	2'14.927
16	6	岡部 隆志	岡部システム HFRP	v.Granz	MI	8	22'38.337	37.413	2'20.628
17	96	NAKAGAWA	ABBEY RACING	v.Granz	MI	8	22'39.138	38.214	2'19.072
*1	18	濱野 隆一	ロコリス with スキルスピート	v.Granz	MI	8	22'46.724	45.800	2'15.785
19	28	依田 学嗣	フォーミュラ E&D WEST v.Granz	v.Granz	MI	8	22'48.535	47.611	2'21.542
20	70	中野 慶太	Daiwa Granz	v.Granz	MI	8	22'50.393	49.469	2'21.776
21	55	カルミネ コツオリーノ	nonno pizza with abbey	v.Granz	MI	8	23'00.116	59.192	2'24.191
22	57	森野 友之	LEALE Accurato・MIKAT	v.Granz	MI	8	23'27.950	1'27.026	2'26.733
*1	23	619 kazux	Kazux-R★v.G	v.Granz	MI	8	23'32.283	1'31.359	2'23.908
24	47	飴井 康司	BUZZ RACING	v.Granz	MI	8	23'34.107	1'33.183	2'31.074
25	118	スガワラくん	スガワラくんレーシング☆G ranz	v.Granz	MI	7	21'02.843	1Lap	2'24.479
***** 以上完走 (規定周回数 5Laps) *****									
	61	畑 享志	アーネ外アキラント v.Granz	v.Granz	MI	2	11'04.829	6Laps	8'46.494

Fastest Lap

2'13.386 (7 / 8) 156.727 km/h 75 金澤 力也 / ファイブコアジャパン v.granz

Start Time :13:20'13 Finish Time :13:42'13

Entry :27 Start :26 Finish :25

SC導入時刻 13:24'37(1Lap)~13:33'17(4Laps)

*1 No.25, 619は、競技結果に対して30秒加算 (国際モータースポーツ競技規則 付則H項 2.10.10 (SC活動中の追越し))



<https://www.suzukacircuit.jp/scr/>

SUZUKA CHAMPION CUP RACEの詳細情報・公式リザルト・ポイントランキング等は、鈴鹿サーキット公式webサイト専用ページにてご覧いただけます。

レースレポート

■FJ1500／スーパーFJ

FJ1500クラスの宮本颯斗がポールポジションを獲得。レースは宮本が好スタートを決め、2番手に柱本翔夢伊が続く。オープニングラップで数台のクラッシュがあり、セーフティカーランになる。宮本、柱本、小野原悠、井出七星翔、田崎脩馬、府本淳之介の順で5周目からレースは再開される。

ペースを上げる井出は、着実に前を抜き2番手へ。井出と宮本は交互にトップに立つバトルを繰り広げると、田崎も加わり三つ巴の戦いでファイナルラップへ。すると田崎がスピンを喫してしまう。宮本が井出を抑えてトップで通過するが、レース後、宮本にドライバーの遵守事項違反によるペナルティが課され、優勝は井出となった。



FJ1500／スーパーFJ 決勝レースライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します

■FJ1500



FJ1500で優勝を果たしたのはポールシッターでもあった宮本だったが…

■スーパーFJ



優勝した井出七星翔は今シーズン、岡山に続いての連勝となった

■FJジェントルマンクラス



ジェントルマンクラス優勝は総合9位の島山退三、2位は青合正博


Round 2

レースレポート

■FJ1500/S-FJ 決勝正式結果表

FJ1500/S-FJ

FJ1500 2026 鈴鹿・岡山シリーズ 第3戦
スーパー FJ 2026 鈴鹿・岡山シリーズ 第3戦





2026 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Round2

FJ1500/S-FJ 決勝

2026 / 6 / 14 16:05

 SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather :Cloudy

Track :Dry

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	35	S-FJ	1	井出 七星翔	RS アイアール KKS2	KK-S II	DL	10	30'09.649		2'14.147
2	9	S-FJ	2	小野原 悠	FTK・レウレーシングガレージ with LAPS	KK-S II	DL	10	30'10.606	0.957	2'14.233
3	66	S-FJ	3	府本 淳之介	FORM with 雅企画&レブリ KKS-II	KK-S II	DL	10	30'11.060	1.411	2'14.740
4	7	S-FJ	4	柱本 翔夢伊	REV RACING with LAPS	KK-S II	DL	10	30'11.190	1.541	2'14.150
5	34	S-FJ	5	藤井 翔大	Drago CORSE	KK-S II	DL	10	30'13.305	3.656	2'14.569
*1	6	FJ1500	1	宮本 颯斗	MYST 制動屋	KK-F	DL	10	30'14.408	4.759	2'14.258
7	85	S-FJ	6	吉田 英翔	K&G RACING C72 KKS-2	KK-S II	DL	10	30'15.751	6.102	2'15.301
*2	8	S-FJ	7	八巻 渉	中日本自動車短期大学MSE学科 07J	07J	DL	10	30'16.766	7.117	2'14.515
9	38	S-FJ	8	嶋山 退三	HobbyBase&MYST	KK-S II	DL	10	30'17.922	8.273	2'15.262
10	50	S-FJ	9	伊藤 聖七	KK-S2	KK-S II	DL	10	30'21.165	11.516	2'15.177
11	55	S-FJ	10	板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	10	30'21.259	11.610	2'15.325
12	70	S-FJ	11	加藤 薫	デルタモータースポーツ KKS-II	KK-S II	DL	10	30'21.286	11.637	2'15.569
13	78	S-FJ	12	三瓶 旭	中日本自動車短期大学MSE学科 07J	07J	DL	10	30'23.838	14.189	2'16.048
14	16	FJ1500	2	青合 正博	TEAM HERO'S Rn SPORTS	KK-F	DL	10	30'29.618	19.969	2'16.649
15	57	FJ1500	3	田崎 脩馬	MYST 制動屋 KK-F	KK-F	DL	10	30'30.153	20.504	2'13.792
*3	16	S-FJ	13	河野 晃大	レウレーシングガレージ	KK-S II	DL	9	28'58.295	1Lap	2'15.196
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****											
	58	S-FJ		太田 援増	MYST 制動屋 KK-S II	KK-S II	DL	3	13'02.012	7Laps	4'56.940
	61	S-FJ		一宮 總太郎	MYST KK-S II	KK-S II	DL	0			
*4	33	S-FJ		小林 留魁	アルビ新潟第一ホテルGIAED	KK-S II	DL	0			



<https://www.suzukacircuit.jp/scr/>

SUZUKA CHAMPION CUP RACEの詳細情報・公式リザルト・ポイントランキング等は、鈴鹿サーキット公式webサイト専用ページにてご覧いただけます。

Fastest Lap

S-FJ	2'14.147 (9 / 10)	155.838 km/h	35	井出 七星翔 / RS アイアール KKS2
FJ1500	2'13.792 (7 / 10)	156.251 km/h	57	田崎 脩馬 / MYST 制動屋 KK-F
G	2'15.262 (7 / 10)	154.553 km/h	38	嶋山 退三 / HobbyBase&MYST

Start Time :14:19'11 Finish Time :14:49'20

Entry :19 Start :19 Finish :16

SC導入時刻 :14:20'22(0Laps)~14:35'49(4Laps)

G...ジェントルマンクラス

No.7 黒白旗提示 (複数回の走路外走行)

*1 No.56は、競技結果に対して5秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第59条6) (ドライバーの遵守事項))

*2 No.79は、タイムハナリ5秒 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第55条8) (反則スタート))

*3 No.6は、競技結果に対して30秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第60条1)① (危険なドライブ行為))

*4 No.33は、訓戒 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第55条6) (スタート手順))

■ Historic Formula Register

往年のフォーミュラカーを愛するオーナードライバーによるレースグループ「ヒストリックフォーミュラレジスター」。2026年は発足25年という周年イヤーを迎えている。参加車両は主に1960年代に製造されたフォーミュラカーで、年代ごとに3クラスにカテゴライズしてレース形式の走行会を実施した。各クラスの優勝はClass3・本橋茂、class2・井戸康裕、class1・麻尾行夫となった。



HFRデモンストレーションレースライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



ポールポジションを獲得したのは1967年式の「McLaren M4B」に乗る本橋茂

Round 2

レースレポート



総合優勝、及びclass3でも優勝となった本橋茂。2位は久保田裕介、3位は山本雅明

■ Historic Formula Register デモンストレーションレース 結果表

Historic Formula Register デモンストレーションレース

2026 / 6 / 14 / 15:55

 SUZUKA CIRCUIT
Full Course 4-Wheels(5,807m)

結果表

Weather : Cloudy
Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Best Time	
1	13	3	1	本橋 茂	McLaren M4B	1967/1598	8	20'20.341		2'29.731	
2	16	3	2	久保田 裕介	Lotus 35B	1965/1600	8	20'31.687	11.346	2'31.560	
3	29	3	3	山本 雅明	Lotus 59	1969/1600	8	21'13.387	53.046	41.700	2'33.811
4	38	2	1	井戸 康裕	Merlyn Mk 17	1969/1600	8	21'21.447	1'01.106	8.060	2'37.866
5	23	2	2	佐々木 隆司	Merlyn Mk 11A	1969/1600	8	21'50.855	1'30.514	29.408	2'41.847
6	37	2	3	河合 道郎	Lotus 51A	1967/1600	8	21'54.731	1'34.390	3.876	2'41.251
7	61	2	4	近藤 基康	Lotus 61	1969/1600	8	22'02.790	1'42.449	8.059	2'42.544
8	81	1	1	麻尾 行夫	Cooper T76	1965/997	8	22'13.150	1'52.809	10.360	2'44.033
9	41	1	2	杉田 正文	Lotus 41 Honda	1968/850	8	23'04.352	2'44.011	51.202	2'46.585
10	43	1	3	板倉 薫	Lotus 41	1966/997	7	20'23.643	1Lap	1Lap	2'48.504
11	31	1	4	梅田 尚志	Lotus 31	1965/997	5	17'14.179	3Laps	2Laps	3'16.101
12	51	2	5	金子 勉	Lotus 51B	1968/1600	2	6'57.415	6Laps	3Laps	3'35.173
13	83	1	5	林 偉明	Brabham BT15	1965/997	1	3'20.468	7Laps	1Lap	-



<https://www.suzukacircuit.jp/scr/>

SUZUKA CHAMPION CUP RACEの詳細情報・公式リザルト・ポイントランキング等は、鈴鹿サーキット公式webサイト専用ページにてご覧いただけます。

Voice of Pick up Driver

この日、キラリと光った
ドライバーに一言一答

この日、キラリと光ったドライバーに一言一答
「Voice of Pick up Driver」。

最後まで熱い展開のレースを制す！
FIT 1.5カテゴリーでクラス初優勝！通算鈴鹿2勝目

瀬戸 貴巨 選手(テクニカ★OKC★制動屋★セナルト FIT)



「Voice of Pick up Driver」のインタビュー動画が鈴鹿サーキット公式YouTubeチャンネルでご覧いただけるようになりました
ドライバーのよりディープでリアルな表情と声を是非御覧ください ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します

【ピックアップドライバー／インタビュー(ダイジェスト版)】

Q:優勝おめでとうございます。鈴鹿での優勝経験は?

「ありがとうございます。過去にCIVICレースで優勝したことがあり、鈴鹿での優勝は2回目です」

Q:決勝を振り返って良かったのはどこでしょうか?

「トップの方のミスもありましたが、1周目でトップに立てたことが結果としてかなり大きかったです」

Q:ファイナルラップも熱い展開でした

「最終コーナーも、自分はスピードを上手く乗せて立ち上がっていきました。このまま最後まで2番手(清水悠祐選手)を抑えようと必死でした」

Q:次戦の目標を聞かせてください

「次はしっかりとポールポジションを取って、逃げ切れる展開のレースをしたいですね！」